

国際交流等の状況調査票(高等学校等)

- 1:中等教育学校(後期課程)を含む
- 2:特別支援学校高等部を含む
- 3:分校は本校を含む
- 4:通信制は含まない

学 校 名	
記 入 者 氏 名	
直 通 電 話 番 号	

例:〇〇県立〇〇高等学校、私立〇〇高等学校、

例:03-1234-5678(半角入力)

・作成後、所管の教育委員会・知事部局まで提出願います。

・行や列を挿入したり、セルを結合するなど様式・書式の変更はしないでください。記入欄の足りない項目がある場合には、学校名と当該項目について新たなファイルに入力してください。

I 外国への修学旅行について

ここでいう「修学旅行」とは、学校の教育課程上、特別活動の中の学校行事に位置付けられるものを指し、原則として該当学年の全ての生徒が参加対象となっているものを指します。

Q1 貴校では、平成29年度に外国への修学旅行を実施しましたか？

実施した
 実施しなかった
 ↑いずれかに「1」を入力

Q2 Q1で「実施した」と回答した学校にお尋ねします。訪問国・地域はどこですか？ 複数国・地域の場合は全ての訪問国・地域をあげてください。また、訪問国・地域ごとに参加生徒数を御記入ください。

訪問国・地域名 (プルダウンで選択)	参加生徒数(人)

Q3 Q1で「実施した」と回答した学校にお尋ねします。プログラムの内容についてあてはまるものをすべて選択してください。

観光
 ホームステイ
 現地の高校・大学等を訪問し、生徒・学生と交流
 現地の高校・大学等を訪問し、授業を聴講
 語学研修
 ボランティア、インターンシップ
 海外での調査など課題解決型学習(PBL等)
 ↑あてはまるものすべてに「1」を入力

Ⅱ 外国からの教育旅行の受入れについて

ここでいう「教育旅行」とは、引率者と生徒で構成される団体に学校等を訪問したものを指し、研修旅行・留学など個人的なものは除きます。

Q4 貴校では、平成29年度に外国からの教育旅行を受け入れましたか？

受け入れた
 受け入れなかった
 ↑いずれかに「1」を入力

Q5 Q4で「受け入れた」と回答した学校にお尋ねします。受け入れた団体について国・地域名と人数を御記入ください。

国・地域名 (プルダウンで選択)	受入生徒数(人)

Ⅲ 姉妹校提携について

(平成30年5月1日現在)

Q6 貴校は、外国の学校等と姉妹校提携をしていますか？

している
 していない
 ↑いずれかに「1」を入力

Q7 Q6で「している」と回答した学校にお尋ねします。提携先の国・地域名、学校数について御記入ください。

国・地域名 (プルダウンで選択)	学 校 数

IV 生徒の留学・研修旅行について

ここでいう「留学」とは、外国における正規の高等学校等の後期中等教育機関に在籍し、その学校等の授業を受けるものを指します。
 また、ここでいう「研修旅行」とは、主として語学等の研修や国際交流を目的として外国の高等学校や語学学校等で学習すること(ボランティアやインターンシップ、海外での調査等課題解決型学習も含む)を指します(「I 外国への修学旅行について」「留学」を除く)。

Q8 貴校には、「留学」・「研修旅行」のために平成29年度中に出国した生徒がいますか？

いる
 いない →Q11へお進みください
 ↑いずれかに「1」を入力

Q9 Q8で「いる」と回答した学校にお尋ねします。留学・研修旅行の状況について御記入ください。

国・地域名 (プルダウンで選択)	留学・研修旅行実施生徒数(人)					期間別生徒数(人)					
	1年	2年	3年	4年	計	2週間未満	2週間以上 1か月未満	1か月以上 3か月未満	3か月以上 6か月未満	6か月以上 12か月未満	12か月以上
					0				()	()	()
					0				()	()	()
					0				()	()	()
					0				()	()	()
					0				()	()	()
					0				()	()	()

※期間が3か月以上の生徒については、上述の「留学」に該当する生徒数を下段の()内に記載願います。

Q10 Q8で「留学」した生徒がいる学校にお尋ねします。留学した生徒の取扱いについて、以下に該当する生徒数を御記入ください。

区 分	人 数(人)
学校教育法施行規則第93条による留学(国内での単位認定有り)	

※「学校教育法施行規則第93条による留学」とは「校長は、教育上有益と認めるときは、生徒が外国の高等学校に留学することを許可することができる」に基づき、校長が留学として許可したものをいいます。

Q11 前回調査と比較し、留学・研修旅行に参加した生徒数の増減の理由について当てはまるものをすべてお選びください。

学校主催のプログラムへの参加人数が増えた。
 学校以外の団体等(教育委員会を含む)が主催のプログラムへの参加人数が増えた。
 学校主催のプログラムへの参加人数が減った。
 学校以外の団体等(教育委員会を含む)が主催のプログラムへの参加人数が減った。
 人数に変化はない。
 増減の理由は不明である。
 ↑あてはまるものすべてに「1」を入力

Q12 高校生の留学に関する意識調査について

※本意識調査における「高校生」には、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部の生徒を含めます。
また、高校生用調査票の「高校」には、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含めます。

調査対象人数	人
有効回答数(実数)	人

Q13 [高校生用調査票Q1の集計]

留学したい	人
留学したいと思わない	人

[高校生用調査票Q2(複数回答可)の集計]

	①語学力を向上させたい	②外国の人と友達になりたい	③外国の文化、スポーツ、歴史、自然等に触れたい	④外国での生活や勉強に関心がある	⑤国際関係の学問や職業に関心がある	⑥大学受験や就職に有利	⑦新しいことに挑戦したい	⑧これからの進路を考えるきっかけにしたい
人数	人	人	人	人	人	人	人	人

⑨周りの人にすすめられた	⑩その他
人	人

[高校生用調査票Q3(複数回答可)の集計]

	①高校在学中に留学したい	②日本の大学など(高等教育機関)に在学中に留学したい	③高校卒業後、海外の教育機関に進学したい	④社会人になってから留学したい	⑤タイミングはわからないが、いつか留学したい
人数	人	人	人	人	人

[高校生用調査票Q4(複数回答可)の集計]

	①経済的に厳しいから	②言葉の壁があるから	③周囲に留学経験者や相談できる人がいないなど、留学に関する情報が少ないから	④留学方法や外国での生活や勉強、友達関係に不安があるから	⑤受験や就職など、帰国後の学校生活や進路に不安があるから	⑥部活動を休みたいから	⑦親元を離れたくないから	⑧保護者の賛成が得られていないから
人数	人	人	人	人	人	人	人	人

⑨教職員の賛成が得られていないから	⑩その他
人	人

[高校生用調査票Q5(複数回答可)の集計]

	①経済的に厳しいから	②言葉の壁があるから	③周囲に留学経験者や相談できる人がいないなど、留学に関する情報が少ないから	④留学方法や外国での生活や勉強、友達関係に不安があるから	⑤受験や就職など、帰国後の学校生活や進路に不安があるから	⑥部活動を休みたいから	⑦親元を離れたくないから	⑧特に魅力を感じないから
人数	人	人	人	人	人	人	人	人

⑨その他
人

[高校生用調査票Q6の集計]

	①内容について知っており、応募した	②内容について知っており、応募を検討した	③内容を知っている(応募しようとは思わない)	④聞いたことはある(内容は知らない)	⑤聞いたことがない
人数	人	人	人	人	人

V 外国人留学生・研修旅行生の受入れについて

この調査の「外国人留学生・研修旅行生」は「Ⅱ 外国からの教育旅行の受入れについて」を除きます。

Q14 貴校では、平成29年度中に外国からの留学生・研修旅行生を受け入れましたか？

- 受け入れた
 受け入れなかった
 ↑いずれかに「1」を入力

Q15 Q14で「受け入れた」と回答した学校にお尋ねします。受入れの状況について御記入ください。

国・地域名 (プルダウンで選択)	受入生徒数(人)					外国人留学生の身分(人)			受入期間別生徒数(人)					
	1年	2年	3年	4年	計	正規生	聴講生	その他	2週間未満	2週間以上 1か月未満	1か月以上 3か月未満	3か月以上 6か月未満	6か月以上 12か月未満	12か月以上
					0									
					0									
					0									
					0									
					0									

- ※ 1: 「正規生」とは、外国人留学生を当該受入校の一般の高校生と同様に扱い、基本的に教育課程、単位認定、成績評価(指導要録の作成)等が同じ場合を指します。
 ※ 2: 「聴講生」とは、国際交流の一環として外国人留学生に我が国の高校生活を体験させることを中心とするもので、規則上当該高校の一般高校生とは異なる又は準じた身分の取扱いを指します。

VI 英語以外の外国語の開設について (平成30年5月1日現在)

ここでいう「開設」とは、平成30年度実施の教育課程上に位置付けられるもので、「総合的な学習の時間」で扱うものは含みません。
ただし、教育課程上に位置付いていても、開講していない科目は含みません。

Q16 貴校では英語以外の外国語を開設していますか？

- 開設している
 開設していない
 ↑いずれかに「1」を入力

Q17 Q16で「開設している」と回答した学校にお尋ねします。英語に替えて必修修として開設しているものがありますか？

- ある
 ない
 ↑いずれかに「1」を入力

Q18 Q16で「開設している」と回答した学校にお尋ねします。英語以外の外国語の開設状況について御入力ください。

外国語名 (プルダウンで選択)	履修者数(人)				計
	1年	2年	3年	4年	
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0

御協力ありがとうございました。

高校生の留学に関する意識調査（高校生用調査票）

文部科学省

Q1 外国へ留学したいと思いますか？

- ① 留学したい
- ② 留学したいと思わない

※②と答えの方はQ5に進んでください。

Q2 Q1で「①留学したい」と回答した方にお尋ねします。
外国に留学したい理由は何ですか？（複数回答可）

- ① 語学力を向上させたい
- ② 外国の人と友達になりたい
- ③ 外国の文化、スポーツ、歴史、自然等に触れたい
- ④ 外国での生活や勉強に関心がある
- ⑤ 国際関係の学問や職業に関心がある
- ⑥ 大学受験や就職に有利
- ⑦ 新しいことに挑戦したい
- ⑧ これからの進路を考えるきっかけにしたい
- ⑨ 周りの人にすすめられた
- ⑩ その他

複数回答可

Q3 Q1で「①留学したい」と回答した方にお尋ねします。
以下のうち、あてはまるものを回答してください。（複数回答可）

- ① 高校在学中に留学したい
- ② 日本の大学など（高等教育機関）に在学中に留学したい
- ③ 高校卒業後、海外の教育機関に進学したい
- ④ 社会人になってから留学したい
- ⑤ タイミングはわからないが、いつか留学したい

複数回答可

Q4 Q3で「②～⑤」と回答した方にお尋ねします。高校生の間に留学しようと思わない理由としてあてはまるものをすべてお選びください（複数回答可）

- ① 経済的に厳しいから
- ② 言葉の壁があるから
- ③ 周囲に留学経験者や相談できる人がいないなど、留学に関する情報が少ないから
- ④ 留学方法や外国での生活や勉強、友達関係に不安があるから
- ⑤ 受験や就職など、帰国後の学校生活や進路に不安があるから
- ⑥ 部活動を休みたくないから
- ⑦ 親元を離れたくないから
- ⑧ 保護者の賛成が得られていないから
- ⑨ 教職員の賛成が得られていないから
- ⑩ その他

複数回答可

Q5 Q1で「②留学したいと思わない」と回答した方にお尋ねします。留学したいと思わない理由としてあてはまるものをすべてお選びください（複数回答可）

- ① 経済的に厳しいから
- ② 言葉の壁があるから
- ③ 周囲に留学経験者や相談できる人がいないなど、留学に関する情報が少ないから
- ④ 留学方法や外国での生活や勉強、友達関係に不安があるから
- ⑤ 受験や就職など、帰国後の学校生活や進路に不安があるから
- ⑥ 部活動を休みたくないから
- ⑦ 親元を離れたくないから
- ⑧ 特に魅力を感じないから
- ⑨ その他

複数回答可

Q6 留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム」について、最もあてはまるものを回答してください。

- ① 内容について知っており、応募した
- ② 内容について知っており、応募を検討した
- ③ 内容を知っている（応募しようとは思わない）
- ④ 聞いたことはある（内容は知らない）
- ⑤ 聞いたことがない



御協力ありがとうございました。